

咽頭アデノウイルス抗原		8127200		
		担当部署		
アデノイット		微生物		
検査オーダー				
患者同意に関する要求事項		該当なし		
オーダーリング手順	1	電子カルテ→指示①→検査→*7.特殊細菌→		
	2	電子カルテ→指示①→検査→*3.緊急→		
	3			
	4			
	5			
検査に影響する臨床情報		確定診断は、臨床症状やウイルスの分離培養等、他の検査結果と合わせて担当医師が総合的に判断して行うこと。		
検査受付時間		緊急対応（24 時間）		
検体採取・搬送・保存				
患者の事前準備事項		該当なし		
検体採取の特別なタイミング		特になし		
検体の種類	採取管名	内容物	採取量	単位
1	咽頭 細菌 綿棒 2	なし		
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
検体搬送条件		室温 採取後直ちに提出		
検体受入不可基準		1) 検査ラベルがない検体 2) 専用の綿棒以外で採取された検体 3) 乾燥した検体		
保管検体の保存期間		保存不可		
検査結果・報告				

検査室の所在地		病院棟 3 階 中央検査部				
測定時間		当日中				
生物学的基準範囲		陰性 (-)				
臨床判断値		該当なし				
基準値					単位	なし
共通低値	共通高値	男性低値	男性高値	女性低値	女性高値	
設定なし	設定なし	設定なし	設定なし	設定なし	設定なし	
パニック値	高値	該当なし				
	低値	該当なし				
生理的変動要因		該当なし				
臨床的意義		<p>ヒトアデノウイルスに感染すると 5～7 日の潜伏期を経て発症し、上気道炎、結膜炎、胃腸炎、膀胱炎などを引き起こす。とくにアデノウイルスによる結膜炎および咽頭結膜熱（プール熱）は、流行性が強いことから、五類感染症の定点把握疾患に指定されている。また、学校内においてアウトブレイクを引き起こす場合もあることから、学校保健安全法により学校感染症に指定され、出席停止期間が定められている。</p> <p>「JAMT 技術教本シリーズ 臨床微生物検査技術教本 2017 年」</p>				